

学校名	村山市立橋岡中学校	実践者	教諭 須貝 勇太
ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 校種や地域が異なった調査対象とした多項目 1000 件単位のアンケート集計を、より正確に効率的に行うとともに業務時間の短縮をはかる。 各種アンケートをペーパーレス化、デジタル化することで、学校の印刷や配布・回収の業務を軽減し、保護者がスマホなどでいつでもどこでも容易に回答できるようにする。 		
使用機器 ソフト コンテンツ	<p style="text-align: center;">使用機器</p> <ul style="list-style-type: none"> PC, iPad や iPhone, Android タブレットやスマートフォンなど (OS: 対応ブラウザがサポートしているバージョン) 	<p style="text-align: center;">ソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> Google フォーム (無料) (対応ブラウザ: Chrome, Firefox, IE11, Edge, Safari) QR コード作成サイト (無料) 	
<input checked="" type="checkbox"/> ネットワーク利用 <input type="checkbox"/> 校務用サーバ利用 <input type="checkbox"/> その他 ()			
活用の方法 (写真等)	<p><どのように使ったのか></p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の小・中学生とその保護者を調査対象にした生活リズム運動「パワーアッププロジェクト」(主催: 村山市養護部会) のアンケート集計を行った。 保護者は、携帯電話やスマートフォンなどから回答する。 主催部会の教員は、担当校の回答数や項目ごとに概要として分析された情報を適宜把握する。 ビッグデータとなった集計結果は Google スプレッドシート (エクセルに変換可) にすぐに一覧となり、集計業務にかかる時間を大幅に短縮して、担当校の傾向に応じた健康指導を行うことができた。 <p><どのように使うのか></p> <ul style="list-style-type: none"> Google フォームでアンケートを作成するためには、作成者側の Google のアカウントが必要である。 Google にログインし、フォームのページを開き、フォーム作成画面で作れるようになり、自動集計まで行えるようになる。※1 質問の形式に合わせて回答を作成できる。(ラジオボタン、チェックボックスなど) 回答は自動的に集計され、概要がグラフとして表示できる。作成者が見ることはもちろん、回答者に公開することも可能である。 アンケートができたなら公開 URL を QR コードにして通信に貼り付けたり、メールで送信したりして回答者に案内できる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="454 1422 662 1456"> <p>お子さんの学校を選択してください。</p> <p>1,062 件の回答</p> </div> <div data-bbox="869 1422 1236 1456"> <p>質問 5 お子さんは、毎日、同じくらいの時刻に起きていますか？</p> <p>1,062 件の回答</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">① インターネット調査 おのり QR コードを貼り付けて回答してください。 可能な方はインターネット回答にご協力をお願いします。 インターネットで回答いただいた場合は回答の無効化はできません。</p> <p style="text-align: center;">② 画面による鑑査(インターネット回答が出来なかった場合) 画面の無効化は記入してお子さんの後で無効化は出来ますようお願いいたします。</p>		
活用におけるポイント 注意点	<p>執筆者と主催部会の代表者の実績として、ビッグデータとなったアンケート結果を集計する手間が省け、業務負担を軽減することができた。また、本校ではメール配信システムを活用して、保護者用メールに URL を貼り付けて送信した後、回答数が大幅に増加した。今後の追跡調査やクロス集計などにも有効である。</p> <p>汎用性、安全性、確実性、効率性、操作性の視点で評価して、非常に優れたオンラインサービスといえる。個人情報の取扱いには十分に気を付けて使用すれば、文部科学省が推進している ICT を活用した業務効率化、校務改善や働き方改革に期待できる。さらに、専用フォームを作っておけば、普段の欠席や遅刻連絡なども、保護者がスマホなどでいつでもどこでもできるようになる。学校は電話を受ける手間がなくなり、連絡状況を校内で共有することも容易になる。学校単位、地区の教科部会や専門部会で Google ドライブ※1 の活用をおすすめしたい。</p> <p>※1 Google ドライブにログインすると、15GB のクラウドストレージや Google ドキュメント (Word に変換可) などを無料で使用することができ、教師間の情報共有にも有効である。</p>		